

あらぐさニュース

2013 10

Vol. 5 1

発行／社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒962-0051 上尾市地頭方498-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

第36回 きょうされん全国大会 in東北・ふくしま ここから「つたえ つなぎ はじめる」

～大会テーマより～

9月21日(土)、9月22日(日)の2日間にかけて、きょうされん全国大会がありました。今年は、開催地が福島県ということで昨年より参加人数を増やし、雑草からは代表として仲間5名(新井、大塚、仲里、古田、矢部)、職員3名(伊藤、関口、佐田)の計8名が足を運びました。

2011年3月11日、東日本大震災が起き、多くの尊い命と暮らしが奪われました。福島県では、震災から2年半がたちましたが、現在も原発事故の問題や風評被害に頭を抱える日々が続いています。死者・行方不明者で3200人、そのうちの1500人が関連死(ストレスなど)という結果が発表されたそうです。しかし、障害者の死亡率は2倍とも言われている話もありました。

しかし、実行委員長の大和田 新氏(ラジオ福島 アナウンサー 編成専任局長)を始め、多くの福島県民がそれぞれの地域の復興を掲げ、非常に生き生きとしている姿を目の当たりにしてきました。1日目の特別講演では、いわき海星高校のじゃんがら念仏踊り(なくなった方を供養するお祭り)、小名浜高校フラガールズの演目などを鑑賞いたしました。高校生たちは、笑顔を絶やさず演技を続け、それぞれが、「人を助きたい。人のために何かをやりたい。」と大きな希望を抱いている気持ちを知り、心にジンときてしまいました。

2日目は、いわき市の視察観光をしました。塩屋崎の沿岸部を通ると、津波の傷跡が今も残り、言葉にならないほど静まりかえっていました。昨年の紅白歌合戦で奇跡のピアノとして話題になった豊間中の1階部分は、今も瓦礫の山となっていてショックを受けました。

でも、「アクアマリンふくしま」などの大規模な施設から、徐々に町が復興をとげ、地元民の元気な姿をたくさん見ることもできました。まだまだ東北では、復興に向けて様々な困難が待ち受けています。今後は、震災へのボランティアや募金活動に雑草からも支援ができるよう話し合っていこうと思います。(関口 恵美子)



- ・多くの人が亡くなってかわいそうだった。
- ・出演者の方から辛くて悲しいお話を沢山聞いたけど、楽しく踊りや歌を発表していてとてもすばらしいと思いました。
- ・生活保護のお話や歌やダンスが見られて良かった。
- ・福島が安全第一な県になるようにもっと家を建てたり学校を建て直したりしてほしい。
- ・アクアマリンでゴマアザラシやサンゴが見られて良かった。

(仲間の声)

新クローズアップ

◎林潤華さんのこと

ゆなさんは、入所して3年目を迎えます。初めての事、自分の知らない事、先の見通しが持てない事には強い抵抗があり、その為か最初の頃は色々な事に怖がって「嫌なのー！！」と怒っている事が多かったです。ゆなさんは、自分の中で強いこだわりがいっぱいあります。モーニング娘や、コーラ、ケーキ(お菓子)、自分が楽しかった思い出など、たくさんあります。それを何度も何度も教えてくれます。これがゆなさん流のコミュニケーションの取り方です。ですが、このやり方は周りから受け入れられる事は難しいです。ゆなさんはみんなと遊びたい、一緒に楽しみたい、という気持ちが強すぎて出てしまう行動のようです。

ゆなさんは、チーズケーキやケーキの袋詰めをしています。手先はとても器用で、袋詰めは本当に上手です。袋にキレイに入れる、封もキレイに閉じる、商品に付いたお菓子のクズをキレイに取る…と、本当に細かな所まで気付いて、自分なりに考えてキレイに美しく袋詰めを行なっています。たまにまじまじと袋詰めの作業を見ていると、「凄いなあ〜…」と感心します。

私がゆなさんの担当になった時は、お互いどういう人なのか分からず、よくぶつかり合っていました。最初はゆなさんの言いたい事や、行動が分からず、ゆなさん自身も伝わらない事に少なからずももどかしさを感じていました。けれど、何度も何度もぶつかり合っていくうちに、お互いの言いたい事、伝えたい事が分かるようになってきました。

今では目と目が合うだけで、お互い伝えたい事が察知できるようになりました。今もまだまだぶつかり合っ、駆け引きしている状態ですが、これからもゆなさん、宜しくお願いします。

藤川

あらぐさに入所して早や3年が経ちました。車なら30分で行ける距離を自転車で駅まで行き電車、バスを乗り継ぎ歩いて1時間30分かけて毎日元気で楽しく通った3年間でした。「あらぐさ頑張る！」と言っては嫌がることもなく毎朝家を出ます。最初は長い道のりをちゃんと通えるのか心配でしたが、雨の日も風の日も元気に家を出る姿にユナの成長を見ることができ嬉しく思います。バスを降りると必ず母の携帯に連絡するのが日課になっています。バスを間違えて1時間も歩いてあらぐさに行ったこともありましたネ。

色んなことが思い出される3年間ですが、職員の皆さん、仲間の皆さんに感謝しユナがこれからもあらぐさで元気で楽しい毎日を送ってくれることを願うばかりです。まだまだマイペースでこだわりも強くじょうずにコミュニケーションをとれないこともあります。家では夕食を作り、洗濯物をたたんでくれる親孝行のユナです。

そんなユナをこれからもよろしくお願いします。(母)

障害者生活支援センター あらぐさ

前号の短期入所（ショート・ステイ、以下SS）制度について、質問が寄せられましたので、お答えして、今後について一緒に考えていきたいと思えます。

Q1 近隣にはSSできる施設はないのですか？

上尾市内には、事業団「あげお」、桶川市に「りんごの家」、蓮田市に「太陽の里」、さいたま市に「しびらき」、「杉の子学園」等がありますが、いつもほとんど満所で、新規希望は、**見学 → 日中の日帰り利用 → 平日の1泊**で3ヶ月ぐらいの期間をみたほうがよいと思えます。

Q2 施設数の不足はなぜですか？

埼玉県は人口が多いうえ、施設数が絶対的に不足している中で、国が入所施設建設を原則認めない政策をとっているために希望者（待機）は増える一方になっています。

Q3 どうしても緊急利用したい（しなければならぬ）場合はどうしたらよいですか？

その時の状況にもよりますが、場所は選べません（県外も視野にいて探します）。残念ながら、利用できる保証はないというのが実情です。

Q4 送っていけない場合はどうすればよいですか？

その時の状況によりますので、Q3・Q4についてはぜひ支援センターに早めに相談をお願いします。SSひとつとっても、利用しにくい制度になっているので、良くしていくための運動をみんなでやっていたらよいと考えています。引き続き皆さんの声を寄せてください。（中富）

生活保護基準引き下げの意味すること

平成25年4月から施行された障害者総合福祉法には、今までの運動の成果である基本合意や骨格提言が反映されていません。「成立してしまったからしょうがない」ではなく、新法に反映させるための運動を進めよう、再提訴も辞さないことで、「きょうされん」は一致しました。

一方、8月1日から生活保護基準が引き下げられました。同時に扶養義務強化が進み、申請を窓口で追い払うやり方も制度化されました。生活保護基準は、最低賃金などの基準であり、国民生活の土台となるものです。また、生活保護への攻撃を前面にだす風潮を作り、年金などを引き下げやすくする道具にも使われています。決して生活保護を受けていない人達と無縁のことではありません。実際、10月から年金や重度障害者や1人親家庭への諸手当の切り下げが始まります。

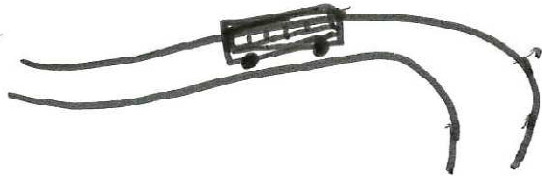
更に、来年4月から消費税を8%にしようとしています。導入されると大変な打撃となるでしょう。「生活保護を守ることは、同時に、障害を持つ人達や私たちの生活を守ることだ」と、署名や集会に参加する中で訴えていくことが、第1歩と思っています。（荒川）

一泊旅行に行ってきました！！



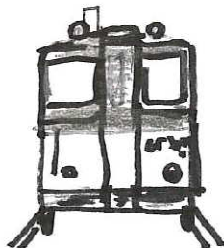
鉄道文化むら

とても暑く大変でしたが、電車に興味のある仲間はとても楽しそうに見学をしたりお土産を買ったりしていました。



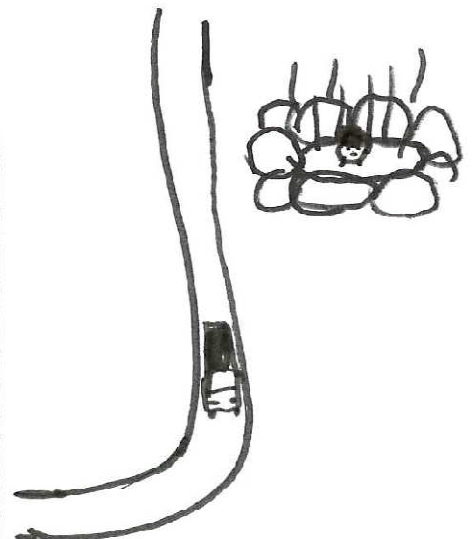
水上館

夜の大会はカラオケ大会・ゲーム大会など楽しい企画満載で今回の一泊旅行の中で一番盛り上がっていました。



群馬サファリパーク

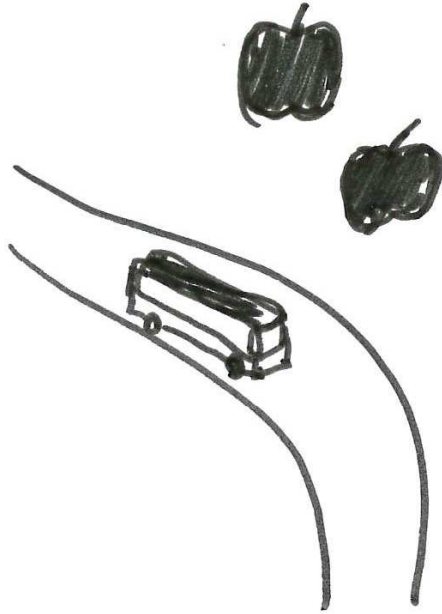
バスに乗ったまま見学をしたので、「こっちに〜が見えるよ。」
「あっちに〜がいるよ。」と仲間同士で楽しそうに教え合っていました。





バスで移動中

カラオケ・クイズ・ビンゴ大会などのレクリエーションがあり飽きることなく楽しめました。



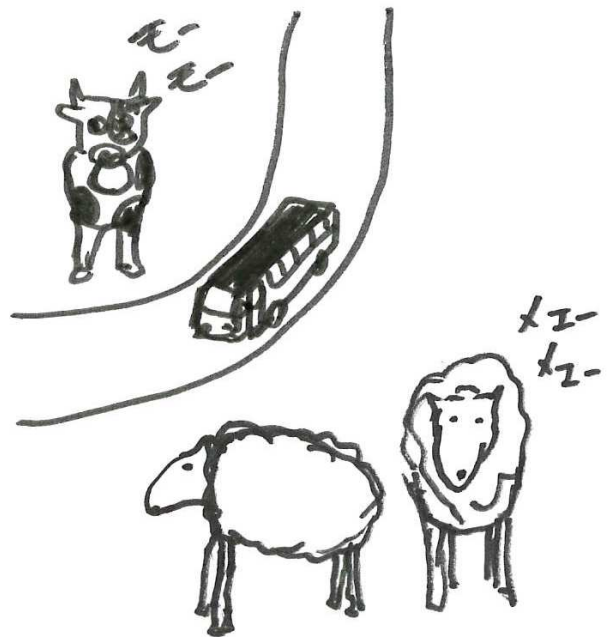
原田農園

ブルーベリー狩りをしました。皆、お土産を作るのも忘れて食べるのに夢中でした。



伊香保グリーン牧場

ソフトクリームを食べたりシープドックショーを見学したりして楽しみました。



『第1クローバーハウス通信...秋』

◆第1クローバーハウスとは・・・

上尾市領家の住宅街にある、知的障害者の共同生活の場です。外観は、普通の民家と変わりありません。2002年11月に開所し、現在6人の男性利用者が生活しています。365日開所です。

〈みんなでワイワイ外出〉

8月11日（日）、久しぶりに第1クローバーハウスの利用者全員で外出&外食をしてきました。少人数での休日の外出は頻繁にあります。全員でとなると、実に2010年9月以来のことでした。今回の外出先は、関東七名城の一つに数えられ、映画「のぼうの城」の舞台にもなった行田市の“忍城”でした。夏休み期間中の外出ということもあり、みんな少しテンション高めに車に乗り込み、出発しました。



(忍城御三階櫓を背景にパチリ！)

(おもてなし甲冑隊の武将のみなさんと)



まず初めに、行田市郷土博物館で歴史と文化を学習しました。展示室をゆっくり見て回った後は、展望台となっている忍城御三階櫓の最上階にのぼり、行田の街を眺めてきました。展望台の窓はそれほど大きくありませんでしたが、見えた景色はなかなかのものでした。外に出ると、忍城おもてなし甲冑隊の演武パフォーマンスがありました。戦国時代に活躍した武将達の迫力ある演武を楽しんだ後は、演武ステージにて全員で記念撮影をしました。順番待ちになるくらい人気のイベントでしたが、みんな列を乱さずに並び、武将のみなさんとかけ声合わせて撮影できました。最後に外食をして、久しぶりの全員での外出は終了となりました。

夏休みの楽しい一時はあっという間でした。帰宅後は、みんなすぐに普段の過ごし方に戻り、第1クローバーハウスはいつも通りになりました。

(高橋)

後援会のページ

日頃より後援会にご支援ご協力頂きましてありがとうございます。

後援会では上尾市で行われているイベントに、年5～6回模擬店を出店しています。

内容は、焼きそば・チヂミ・飲み物です。一日につき10名ぐらいで食材の買い出し、当日早朝からの仕込み、調理、販売そして翌日の後片付けという手順で行っています。

ただ最近、天候やお客様の減少などで利益が下がっています。なのでそれを補うためにフリーマーケットに出店することになりました。ここでは焼きそばは売ることができないので、家庭の不用品などを売ります。沢山の出店数があるのでどのくらい売れるかわかりませんが、期待したいと思っています。是非買いにいらしてください。

秋はイベント続きで大変ですが、少しずつでもコツコツと資金作りをし、あらぐさ福祉会の運営のため、また仲間たちが充実して働けるように頑張っています。

今後の模擬店・フリーマーケットは

- ・10月27日(日) わくわく公園まつり(上尾水上公園)
- ・11月 9日(土) 上尾産業祭(上尾市民体育館)
- 10日(日) //
- ・11月30日(土) フリーマーケット(上尾水上公園)

時間はどれも10時～15時です。

よろしくお祈りします。

あらぐさ福祉会後援会

会長 高橋弘美

- ・9月8日(日)「よさこいげんき祭り」にて



* お知らせコーナー *

◆お歳暮に雑草のバタークッキー詰め合わせはいかがでしょう？

* 詰め合わせサンプル例 *



200円袋 6個入り 1,300円



200円袋 10個入り 2,100円



300円袋 10個入り 3,150円

間もなくお歳暮の季節です！
今年も是非お歳暮に雑草のクッキー
はいかがでしょう？

一味違う雑草のクッキーは、とても
ご好評を頂いています！

ご予算に応じてお作りします。

郵送も承ります。

お求めは、「雑草」までご連絡ください。 048-726-5720

※販売のお知らせ

- 10月 2日 (水) 市役所販売
- 10月 5日 (土) あびつとマーケット (上尾駅前コンコース)
- 10月 23日 (水) 市役所販売
- 10月 27日 (日) わくわく公園まつり
- 11月 23日 (土) 消費生活展

【編集後記】

こここのところ、竜巻や水害など不安な報道をよく耳にします。先日も夜中に地震があり、ドキッとさせられました。そんな中で、7年後のオリンピック開催が日本に決まったニュースは、日本中を明るい雰囲気にしてくれました。7年後はどうなっているのだろうか？と改めて考えさせられましたが、「ただいまー」と元気に仕事から帰ってきた息子を迎えながら、まずは今日一日の平和を大事にしていきたいな、と思うのでした。

(新井恵美子)